

博士論文（要約）

ミニマリズムとパースペクティヴ

荒川徹

目次

序——5

第1部 芸術と工学

第1章 人工風景の経験——13

第2章 構造と形態——47

第2部 系列的方法

第3章 パースペクティブとプロポーション——83

第4章 次元の変換——107

第3部 土地と配列

第5章 風景への回帰——145

第6章 荒野という文脈——173

結論——209

参考文献——215

図版一覧——221

序

1. 導入

本論は、1960年代初頭に興隆したアメリカのミニマリズム (Minimalism) あるいはミニマル・アート (Minimal Art) と呼ばれる美術、とりわけドナルド・ジャッドの作品を対象とし、パースペクティヴの問題によって、その発生と展開を考察するものである。ここで使われるパースペクティヴ (perspective) とは、遠近法、眺望、そしてものの見方という意味を含んでいる。パースペクティヴという問題を重視するのは、イメージの描写や表現主義的身振りといったものが還元された、幾何学的で抽象的な「物体 object」の芸術として登場し、近年の大規模な展覧会でも「物体としての芸術」¹として呼ばれたミニマリズムの芸術を、「物体」にとどまらず、その周囲と背景を含んだ視野から、具体的に再考するために有効であると考えためである。本論においては、「物体としての芸術」ではなく、視点性が還元できない「観点としての芸術」として新たに再解釈する。パースペクティヴの概念は、郊外の人工風景の発見、遠近法の人工的な操作、作品の設置環境の探求といった、本論で考察するミニマリズムの歴史の諸段階を包括している。

本論において「ミニマリズム Minimalism」という呼称を用いるのは便宜的なものであり、本論が論じる作家・作品群を総称的に指すのに、もっとも広く定着しているためである。「ミニマリズム」「ミニマル・アート」という用語は、本来、作家たちが自称した運動体名ではなく、60年代の抽象的・幾何学的形態を用いた物体群に対して、批評家たちがとりわけ60年代中葉以降用いるようになり、定着した呼び方²である。ミニマリズムのタームで括られる作家は多いが、本論で論じる作家は限定されている。前半部で集中的に論じるのは、ドナルド・ジャッド (1928-94) とトニー・スミス (1912-80) であり、両者に強い影響を受けたロバート・スミッソン (1938-73) を含めれば、三世代のアーティストたちによる、ひとつの系譜を描くことができる³。この三者を結びつけるものは、大規模な工学構造への関心である。高速道路、橋、ダム、兵器庫といった大規模なインフラストラクチャーの建造物と彼らの造形は連関している。スミスとスミッソンは、ともにニュージャージー州の出身であり、多くの作品制作をニュージャージーで行った。ジャッドの出身はミズーリ州でその後は国内を転々としたが、ハイスクール時代をニュージャージーで過ごしている。アーティストたちがニューヨークに居を構え、グリーン・ギャラリー、キャストリヤドワンといったニューヨークのギャラリーに所属し作品を発表していたにも関わらず、本論は郊外のニュージャージーという地理を、ミニマリズムにとって重要な場所として扱う。ニュージャージーの工業的風景とミニマリズムとの関係に注目することで、ミニマリズムを具体的な場所から切り離された観念的考察から解放し、現実の風景に位置づけ直すことができるためである。

対象となる年代は、1951-52年にスミスがニュージャージーの未完の高速道路を走行した体験を先駆とし、1961-68年までのミニマリズムが最も盛んに展開した時期を中心として、1984年にジ

¹ *A Minimal Future?: Art as Object 1958-1968* (Los Angeles: The Museum of Contemporary Art, and Cambridge, MA and London: MIT Press, 2004).

² Francis Colpitt, *Minimal Art: The Critical Perspective* (Seattle: University of Washington Press, 1990), p. 3. 1968年には、グレゴリー・バットコック編集による『ミニマル・アート：批評選集』が刊行され、ハーグにおいて「ミニマル・アート」展 (デュッセルドルフ、ベルリン巡回) が開催されている。Gregory Battcock ed., *Minimal Art: A Critical Anthology* (Berkeley and Los Angeles: University of California Press, 1968/1995).

³ 本論における記述のウェイトは、おおよそジャッド50%、スミス15%、スミッソン15%、その他20%である。

ジャッドが荒野のコンクリート作品を完成させるまでの期間を扱っている。この限定は、パースペクティブという本論の主題を考慮して、最適なものを選び取った。

2. ミニマリズムと遠近法

パースペクティブという問題を扱うに当たって、その問題圏について予備的に記しておこう。ミニマリズムの作品を「物体 object」として把握することが依然として支配的なのは、ドナルド・ジャッドが1964年に執筆し、65年に発表した批評「スペシフィック・オブジェクト Specific Objects」⁴の影響があるだろう。ジャッドはそこで、数年来に興隆した新しい作品群を、絵画でも彫刻でもない三次元的作品として把握し、そこにイリュージョンの排除、反コンポジション、素材と色彩使用の自由、擬人主義的イメージの不在といった、既存の美術作品とは異なる特徴を見出した。本論では、そのような美術史の領域における線の展開において登場したオブジェクトとしての存在の規定ではなく、美術以外の非芸術作品を見る視点という、より把握しがたいものに、ミニマリズムの発生と展開の重要な問題があると考えられる。そのため、当時のジャッドの言説では「スペシフィック・オブジェクト」ではなく、彼が非芸術作品を論じた2つの批評「カンザスシティ報告」（1963年12月）と、「20世紀工学展」のレビュー（1964年10月）⁵における、工学建築や都市風景についての批評に着目する。そこでは、工学建築や都市計画といったものが、「芸術」として把握されており、そのような建築物への関心が自作の展開、ひいてはミニマリズムの展開と並行していることが明らかになってくるだろう。

また本論では、ミニマリズムの作品において、線遠近法、幾何学、プロポーション、シンメトリー、多面体、タイリングといった、古典古代からルネサンス／バロック、あるいは自然形態から受け継がれてきたオーダーが、いかに復活しているかという問題を、人工風景のような同時代的な視覚現象からの影響と並行して考察している。ミニマリズムの造形が「幾何学的」であることは誰もが語るが、実質的には、ミニマリズムを幾何学の観点から数的に分析した者はほとんどいなかった⁶。たとえば2つのミニマリズム論のアンソロジー、グレゴリー・バットコック編集（1968年）のものにも、ジェームズ・メイヤー編集（2000年）⁷のものにも、メル・ボックナーなどアーティスト自身の著作を除けば、作品の数的・幾何学法則の分析を具体的に行ったものはない。本論では、ミニマリズムの作品における幾何学・数学の分析を重視した。長さ、角度、プロポーションという基礎的な要素を、ごく初歩的な数学を用いて分析したことで、依然として人文学的な批評家・美術史研究者たちが試みなかった、隠された造形的規則性もいくつか発見している。たとえば第3章では、ジャッドが使用していた、計算が間違った逆数の級数が生み出した、新たな規則性を見出している。

⁴ Donald Judd, “Specific Objects” (1965), in *Donald Judd, Complete Writings 1959-1975* (Halifax: The Press of Nova Scotia College of Art and Design and New York: New York University Press, 1975), pp. 181-189. First published in *Arts Yearbook* 8, pp. 74-82.

⁵ Donald Judd, “Kansas City Report” (1963), in *ibid.*, pp. 103-105. Judd, “‘Month in Review,’ *Arts Magazine*, October 1964,” in *ibid.*, pp. 137-139.

⁶ 幾何学を用いた作品分析の例を挙げれば、ジョゼフ・マシェックは、ミニマリズムとしてカテゴライズされることがあるロバート・マンゴールドの作品の半円形フォーマットの幾何学を分析している。Joseph Masheck, “A Humanist Geometry [Robert Mangold]” (1974) in ed. Amy Baker Sandback, *Looking Critically: 21 Years of Artforum Magazine* (Ann Arbor: UMI Research Press, 1983), pp. 157-159.

⁷ James Meyer ed., *Minimalism* (London: Phaidon, 2000).

ミニマリズムとの関連において、遠近法の法則で最も基礎的なものは、大きさの縮小である。ある観点と、物体との直線距離が2倍、4倍、8倍...になったとする。そうすると視線の正面では、物体の見かけの大きさは最初と比べて1/2、1/4、1/8...と線形的に収縮する（これは、片目をつぶって両手を動かしながら試してみることもできるだろう）。この縮小は、距離Dに対し、大きさSは距離の逆数である1/Dに比例する、と表現することができる⁸。「大きさは、視点から遠ざかるに比例して小さくなる」というこの経験的感覚はしかし、遠くに見える自動車が実際にミニカーと同じくらい小さいとは通常はあまり考えないように、日常的知覚においては、距離による大きさの変化を考慮して、むしろ大きさを恒常的なものとして把握することが多いだろう。大きさの縮小から距離を見積もる計算を解除して、遠近法のままに物を見るということには、やや工夫が必要だ。ミニマリズムの作品経験は、そのように、絵画的な遠近法をそのまま受け容れる、という視覚に強く関わっている。作家ではメル・ボックナーが注目していた射影幾何学という領域は、平行線が無遠点で交差するという線遠近法絵画の視覚的事実を受け容れ、長さや角度のない、射影変換という図形操作に基づく幾何学を展開させた。また、そのような遠近法で絵画・写真的な視覚は、ジェームズ・J・ギブソンが「視覚フィールド」と呼んだものであった。

大きさの縮小は、もうひとつの重要な法則を発生させる。それはごく当たり前ではあるものの、限定された室内空間の知覚においては、やや気づくことが難しいものだ。それは距離の増加による大きさの縮小にともなって、視野に示される領域が拡大することである。近くの風景より遠くの風景のほうが、縮小される分、視野に提示可能な物理的面積は大きくなるということである。近くの列車が視野に1両分ほど収められるとしたら、遠くの列車は8両分を収めることも可能である。ごく単純に表すとしたら、物の大きさは小さく見えるが、それを取り囲む空間は広がる。距離とともに物体の大きさが1/2、1/4と縮小するとき、空間は2倍、4倍と増加する。幾何学的な箱に近い、四方を壁に囲まれた室内空間では、視点から遠ざかると壁が縮小するばかりで、領域が広がっていることにはなかなか気づきにくい。だが、なるべく遮るものがない見通しの良い外に出れば、その広がり是一目瞭然である。距離の増加にともなう、大きさの縮小と空間の拡大は、単なるイリュージョンではなく、視覚の感覚的事実であり、また、観念的なモデルではない。本論は、同じユニットの規則的反复という、ミニマリズムの配列を概念的・観念的に考察するより、遠近法の縮小という知覚的事実に着目する。この原理は、とりわけ第2部・第3部において、写真の遠近法から鏡の反映、荒野に置かれたユニットのサイズに至るまで、重要な役割を果たすだろう。

3. 先行研究

先行研究に対する当研究の位置づけを示しておこう。2001年にジェームズ・メイヤーが『ミニマリズム——60年代のアートと論争』⁹を刊行し、1959-68年までのミニマリズムの包括的な歴史が、主要な展覧会とそれに対する批評を中心に集約された。クロノロジカルなメイヤーの著作は、1966年の「プライマリー・ストラクチャーズ」展を初めとする展覧会とその受容をベースとした分析である。本論がメイヤーの歴史認識と大きく異なる点は、メイヤーの本では章を割り

⁸ James J. Gibson, *The Perception of the Visual World* (Cambridge, MA: The Riverside Press, 1950), p. 83. [ジェームズ・J・ギブソン『視覚ワールドの知覚』東山篤規・竹澤智美・村上嵩至 訳（新曜社、2011年）、99頁]

⁹ James Meyer, *Minimalism: Art and Polemics in the Sixties* (New Haven and London: Yale University Press, 2001).

当てて検討されなかったトニー・スミスの存在が中心化され、人工風景・工学建築との関係性が主題化されていることである。

メイヤー以前では、フランセス・コルピットが1990年に刊行したミニマリズムの批評的問題の分析¹⁰が行われている。コルピットとメイヤーの研究によって、ミニマリズムと当時の美術批評との関係は明確になっている。両者の研究はミニマリズム研究の基礎的な文献であり、本研究はパースペクティヴという、より特殊な問題に焦点を当て、発展した作品・作家分析を展開することを目論んでいる。

60年代後半から同時代批評として登場し、その後も支配的なミニマリズムに関する理論的読解を提起したのが、マイケル・フリードとロザリンド・クラウスによる現象学的なミニマリズム論である。マイケル・フリードは1967年の「芸術とオブジェクトフッド」¹¹において、スミス、ジャッド、モリスをリテラリズムと呼び、その作品経験の主体客体関係が観者の経験を含み、演劇的な性格をもっているため非芸術であると批判した。フリードの論は、現在に至るまでミニマリズム論の代表的言説となっている。しかしフリードの論は、初期作品を舞台装置として用い、自らパフォーマンスを行ったロバート・モリスの批評としては、作家自身その予見性を認めるよう¹²に妥当なものであると考えられるが、スミスとジャッドの解釈としては、彼らの構造力学的形態への関心といったコンテクストを完全に捉えそこねている。本論では、第2章・第3章を通じて、その解釈の問題を明らかにした。

ロザリンド・クラウスは、60年代の同時代批評から、ミニマリズム／ポストミニマリズムの動向に、現象学および構造主義に依拠した理論的分析を導入した。1979年には、論考「拡張＝展開されたフィールドにおける彫刻」¹³において、モダニズム以降の彫刻のステータスを、非-風景、非-建築からなる論理的フィールドの展開として把握した。本論でも、クラウスと同じく、建築と風景に拡張されたフィールドからミニマリズムの歴史を把握している。しかし、そこにおける「構造」の概念の取り扱いが大きく異なっている。本論において「構造 structure」は、紙の上の抽象的な「論理的構造」ではなく、物理的な「構造力学」の問題において考察されている。ミニマリズムの展開を、工学構造の芸術的転用という視点から再考することで、ジャッドの作品形態の変化や、スミスの反主知主義的な構造利用を、ごく抽象的な理論モデルに拘泥することなく、正確に把握することができるだろう。

ハル・フォスターは、クラウスの「拡張＝展開されたフィールド」を、トニー・スミスの高速道路やジャッドの荒野、ジェームズ・タレルを含めた、ミニマリズム以降の現代美術の拡大的展開を理解するものとして再把握している¹⁴。しかし、その「拡張されたフィールド」は、限界のなさの経験という、崇高の美学に結び付けられてしまう。本論は、ミニマリズムの拡散的な実践を、崇高の美学とは同一視していない。たしかに、スミスの高速道路やジャッドの荒野は、経験するフィールドの限界の無さを感じさせる。だが、そこで留意すべきは、いかに事物によって時

¹⁰ Francis Colpitt, *Minimal Art: The Critical Perspective* (Seattle: University of Washington Press, 1990).

¹¹ Michael Fried, "Art and Objecthood," in *Artforum* 5, no. 10 (June 1967), p. 23.

¹² Robert Morris, *Have I Reasons: Works and Writings, 1993-2007*, ed. Nena Tsouti-Schillinger (Durham and London: Duke University Press, 2008), pp. 135, 184.

¹³ Rosalind Krauss, "Sculpture in the Expanded Field," *October* 8 (Spring 1979), pp. 30-44. 2014年には、同論文に基づく2007年に行われたカンファレンスの記録集が出版されている。Spyros Papapetros and Julian Rose eds., *Retracing the Expanded Field: Encounters between Art and Architecture* (Cambridge, MA and London: MIT Press, 2014).

¹⁴ ハル・フォスター『アート建築複合態』瀧本雅志 訳（鹿島出版会、2014年）、299-300頁

空間のシークエンスが分節されるかということである。本論は、その物質的な分節を詳細に分析することによって、単なるフィールドの拡張と崇高性の経験という観点からは明確に距離を置いている。

フリードとクラウス以降のミニマリズム読解の主な動向を見ておこう。リチャード・シフは、2000年頃から頻繁にジャッド論に取り組んでいる¹⁵。シフの解釈の特徴は、クラウスが構造主義以降のヨーロッパ思想から分析したのに対して、C・S・パースなどのアメリカ哲学から、経験論的哲学の実践として考察している点にある。シフの解釈は、ジャッド論のアメリカナイズに多分に貢献した。しかし、シフの諸作はジャッドの後期著作の哲学的解釈に集中しており、そこでは作品の知覚に基づいた分析が、著作の読解には拮抗していない。本論の目的は、ジャッドのプラグマティズム的美学を理解することではなく、実践における思考を抽出することにある。そのため、作品分析において、随所でジャッド自身の著作を踏み越えた考察を行っている。

ドナルド・ジャッドについてのモノグラフは、リチャード・シフの指導のもとにあったデヴィッド・ラスキンによって2010年になって初めて公刊された¹⁶。ラスキンのジャッド論は、端的に、ジャッドの作品をフリードやクラウスのように、単に反復されるだけの物体として捉えるのではなく、「創造的経験」として、自由、開放、創発、創造といった肯定的かつプラグマティックな生の哲学を表現するものとして理解しようとしたものだ。肯定性はそこから、ジャッドの道徳・倫理的な態度にまで拡大される。しかし結果として、ラスキンのジャッド論は、学術的にも批評的にもルーズなものであり、ジャッドの作品分析としても、プラグマティズム的な美学理論としても、学説として不徹底なものである。本論はジャッドについてのモノグラフではないが、そのような「生の哲学」に依った不鮮明な解釈は、ジャッドの作品構造における幾何学・数学の徹底した分析に置き換えられている。

トニー・スミスは、他のミニマリズムのアーティストよりマイナーである。ジャクソン・ポロックと同じ1912年生まれで、先行する抽象表現主義の世代に属し、プロトミニマリズム的な作家として把握されることが多いスミスを本論が重視するのは、独学者の建築家として活動していたスミスの建築・インフラストラクチャーの構造に対する眼差しが、ミニマリズムからアースワークへという歴史的展開をシームレスに接続しうる、包括的な視野を提供すると考えるからである。スミス研究の公刊されたモノグラフはいまだ存在しないものの、1972年の作品集¹⁷におけるルーシー・リップパードのテキストは、20頁ほどの分量ではあるが、スミスの彫刻作品を理解する結晶的構造などのコンテクストを、フリードとは比較にならない適切さで把握していた。本論のアプローチは、フリードやクラウスの理論的解釈より、リップパードの具体的なコンテクスト読解の態度に近いといえるだろう。

戦後アメリカ美術を、ニューヨークのアートワールドではなく、ニュージャージーの郊外空間というコンテクストとの関係において文化史的に考察することは、アン・レイノルズの『ロバート・スミッソン——ニュージャージーと他所に学ぶ *Robert Smithson: Learning from New Jersey and*

¹⁵ Richard Shiff, "Donald Judd: Fast Thinking," in *Donald Judd: Late Work* (New York: Pace Wildenstein, 2000), pp. 4-23. Shiff, "A Space of One to One," in *Donald Judd: 50 × 100 × 50/100 × 100 × 50* (New York: Pace Wildenstein, 2002), pp. 5-23. Shiff, "Donald Judd, Safe from Birds," in Nicholas Serota ed., *Donald Judd* (London: Tate, 2004), pp. 29-61.

¹⁶ David Raskin, *Donald Judd* (New Haven and London: Yale University Press, 2010).

¹⁷ Lucy R. Lippard, *Tony Smith* (London: Thames and Hudson, 1972).

Elsewhere』(2002)¹⁸以降、何度か試みられてきた。ごく近年では、2012年に、ダン・グレアムが地元ニュージャージーを撮った写真の展覧会『ダン・グレアムのニュージャージー *Dan Graham's New Jersey*』(2012)¹⁹が開かれ、2013-2014年にかけては、プリンストン美術館で、スミッソンやグレアムを含む、ニュージャージーで制作された作品群を扱った展覧会『ノンサイトとしてのニュージャージー *New Jersey as Non-site*』²⁰が行われている。本論はこれらの近年の成果を包括しつつ、郊外のインフラストラクチャーとミニマリズムの視覚をたびたび結び合わせていこう。

4. 構成

本論の全体は3部構成であり、内容は主題によって分けられているが、ほぼ年代記にも沿っており、それぞれ初期ミニマリズム、盛期ミニマリズム、ミニマリズム以降の問題を論じている。

第1部「芸術と工学」は、高速道路、橋、カンティレヴァー構造、配管といった工学的な風景と形態が、いかにスミスとジャッドのミニマリズム的作品の発生にとって重要な影響をもたらしたかというソース研究である。第1章「人工風景の経験」では、1950年代から60年代の初頭にかけてのミニマリズムの黎明期において、いかにアーティストたちが非芸術である人工風景を芸術との相関において見ていたかを明らかにしている。第2章「構造と形態」では、スミスとジャッドの作品構造とその展開を、人工風景以外の科学的ダイアグラムや工学構造という、美術史の外部の存在との関係において分析している。

第2部「系列的方法」は、連続的な数の系列 (series) によって作品の秩序を遂行に先立って決定する方法論が、ジャッドとそれ以降のボックナー／スミッソンにおいてどのように展開したかを検討している。第3章「パースペクティブとプロポーション」は、1966年のジャッド個展において展示された「プログレッション」(数列) タイプの作品を取り上げ、その数的構造と経験構造の両者を分析している。第4章「次元の変換」は、遠近法・写真・地図における三次元から二次元への変換という問題から、スミス作品の連続写真、ボックナーのブロック・グリッド写真、スミッソンの遠近法的縮小を検討している。

第3部「土地と配列」は、第2部で扱った盛期ミニマリズムの時期において、いったん実際の土地から切り離され、抽象的構造として純粹化されたものが、ふたたび郊外風景、そして荒野において展開していく過程を検討する。第5章「風景への回帰」は、第1章の続編であり、ダン・グレアムが故郷のニュージャージーの住宅団地の配列にミニマリズムを見出した「ホームズ・フォー・アメリカ」のプロジェクト、そしてスミッソンがニュージャージーの旅行から立ち上げた「ノンサイト」タイプの作品を分析し、人工風景から展開したミニマリズムが、ふたたび郊外風景という具体的な対象へと回帰する過程を検討する。第6章「荒野という文脈」では、ジャッドが68年にニューヨークの鑄鉄ビルを購入して以降、テキサス州マーファの地で大規模な野外作品設置をするまでの過程を追い、既存の建物や土地というコンテクストをいかに利用したかを明らかにする。1980-84年に制作された1kmにおよぶコンクリート作品を詳細に分析することで、ミニマリズムの方法が、荒野という環境でどのように展開したのかを考察する。

¹⁸ Ann Reynolds, *Robert Smithson: Learning from New Jersey and Elsewhere* (Cambridge, MA and London: MIT Press, 2003).

¹⁹ *Dan Graham's New Jersey* (Zurich: Lars Müller, 2012).

²⁰ *New Jersey as Nonsite*, ed. Kelly Baum (New Haven and London: Yale University Press, 2013).

結論

主要参考文献

著者名は日本語文献も含め、アルファベット順。展覧会カタログのカテゴリのみ刊行年順であり、論文内容との関連性が強い文献のみを挙げる。刊行年に原著の初版年を記述する場合は1965/2012のように、原著初版年/再版年を表記。

作家著作集・記事

Andre, Carl. *Cuts: Texts 1959-2004*. Edited by James Meyer. Cambridge, MA and London: MIT Press, 2005.

Bochner, Mel. *Solar System and Rest Rooms: Writings and Interviews 1965-2007*. Cambridge, MA and London: MIT Press, 2008.

Graham, Dan. "Muybridge Moments." *Arts Magazine* 41, no. 4 (Feb. 1967): 23-24.

———. "Models & Monuments: The Plague of Architecture." *Arts Magazine* 41, no. 5 (Mar. 1967): 32-35.

———. *Rock My Religion: Writings and Art Projects, 1965-1990*. Edited by Brain Wallis. Cambridge, MA and London: MIT Press, 1993.

Judd, Donald. *Complete Writings 1959-1975*. Halifax: The Press of Nova Scotia College of Art and Design, and New York: New York University Press, 1975.

———. *Complete Writings 1975-1986*. Eindhoven: Van Abbemuseum, 1987.

———. *Donald Judd: Architektur*. Münster: Westfälischer Kunstverein, 1989.

———. "21 February 93" (1993). *Chinati Newsletter*, vol. 3 (Fall 1998): 14-18.

———. "Some Aspects of Color in General and Red and Black in Particular" (1993). *Donald Judd*. London: Tate, 2004: 145-159.

LeWitt, Sol. "Ziggurats." *Arts Magazine* 41, no. 1 (Nov. 1966): 24-25.

———. *Critical Texts*. Edited by Adachiara Zevi. Rome: I Libri Incontri internazionale d'Arte/Edioctrice Inonia, 1994.

Morris, Robert. *Continuous Project Altered Daily: The Writings of Robert Morris*. Cambridge, MA and London: MIT Press, 1993.

———. *Have I Reasons: Works and Writings, 1993-2007*. Edited by Nena Tsouti-Schillinger. Durham and London: Duke University Press, 2008.

Serra, Richard. *Writings Interviews*. Chicago and London: The University of Chicago Press, 1994.

Smithson, Robert. *The Collected Writings*, Edited by Jack Flam. Berkeley and Los Angeles: University of California Press, 1996.

作家インタビュー

Bauer, Uta Meta. "From Magazines to Architecture: A Meta Interview with Dan Graham." *Mousse Magazine* 27 (Feb. 2011): 40-47.

Bader, Joerg. "Les kaléidoscopes de Dan Graham: The Architecture of Seeing, interview par Joerg Bader." *Art Press*, no. 231 (Janvier 1998).

Coplans, John. "An Interview with Don Judd." *Artforum* 9, no. 10 (Jun. 1971): 40-50.

Kardon, Janet. "Janet Kardon interviews Some Modern Maze-Makers." *Art International: The Art Spectrum*, vol. XX/4-5 (Apr./May 1976): 64-68.

Wagstaff Jr., Samuel. "Talking with Tony Smith." *Artforum* 5, no. 4 (Dec. 1966): 14-19.

展覧会カタログ

- Twentieth Century Engineering*. New York: The Museum of Modern Art, 1964.
- The Responsive Eye*. New York: The Museum of Modern Art, 1965.
- Primary Structures: Younger American and British Sculptors*. New York: The Jewish Museum, 1966.
- Tony Smith: Two Exhibitions of Sculpture*. Hartford: Wadsworth Atheneum, and Philadelphia: The Institute of Contemporary Art, The University of Pennsylvania, 1966-67.
- Donald Judd*. Ottawa: National Gallery of Canada, 1975.
- Robert Morris: The Mind/Body Problem*. New York: Guggenheim Museum Foundation, 1994.
- Mel Bochner: Thought made Visible 1966-1973*. New Haven: Yale University Art Gallery, 1995.
- Tony Smith: Architect Painter Sculptor*. New York: The Museum of Modern Art, 1998.
- Mel Bochner Photographs 1966-1969*. New Haven and London: Yale University Press, 2002.
- Donald Judd*. London: Tate, 2004.
- Robert Smithson*. Los Angeles: The Museum of Contemporary Art, 2004.
- A Minimal Future?: Art as Object 1958-1968*. Los Angeles: The Museum of Contemporary Art, and Cambridge, MA and London: MIT Press, 2004.
- Dan Graham's New Jersey*. Zurich: Lars Müller, 2012.
- New Jersey as Nonsite*. New Haven and London: Yale University Press, 2013.

美術論・美術批評

- Battcock, Gregory, ed. *Minimal Art: A Critical Anthology*. Berkeley and Los Angeles: University of California Press, 1968/1995.
- Berger, Maurice. *Labyrinths: Robert Morris, Minimalism, and the 1960s*. New York: Harper and Row, 1989.
- Boettger, Suzaan. *Earthworks: Art and the Landscape of the Sixties*. Berkeley, Los Angeles and London: University of California Press, 2002.
- Bois, Yve-Alain. "Inflection." Translated by Gregory Sims. *Donald Judd*. New York: Pace Gallery, 1991: 7-25.
- and Rosalind Krauss. *Formless: A User's Guide*. New York: Zone Books, 1997. [イヴ＝アラン・ボワ＋ロザリンド・エ・クラウス 『アンフォルム——無形なものの事典』 加治屋健司／近藤學／高桑和巳 訳（月曜社、2011年）]
- Butcher, Sterry. "Judd, Bagpipes, Tartans, and Time." *Chinati Foundation Newsletter*, vol. 17 (Oct. 2012): 16-18.
- Chave, Anna C. "Minimalism and the Rhetoric of Power." *Arts Magazine* 64, no. 5 (Jan. 1990): 44-63.
- Colpitt, Francis. *Minimal Art: The Critical Perspective*. Seattle: University of Washington Press, 1990.
- Didi-Huberman, Georges. *Ce qui nous voyons, ce qui nous regarde*. Paris: Minuit, 1992.
- Esmay, Francesca. "On Donald Judd's Concrete Works." *Chinati Foundation Newsletter*, vol. 15 (Oct. 2010): 26-31.
- Foster, Hal. *The Return of the Real: The Avant-Garde at the End of the Century*. Cambridge, MA and London: MIT Press, 1996.
- . *The First Pop Age: Painting and Subjectivity in the Art of Hamilton, Lichtenstein, Warhol, Richter and Ruscha*. Princeton, NJ: Princeton University Press, 2012. [ハル・フォスター 『第一ポップ時代』 中野勉 訳（河出書房新社、2014年）]
- . *The Art-Architecture Complex*. New York and London, 2011. [ハル・フォスター 『アート建築複合態』 瀧本雅志 訳（鹿島出版会、2014年）]
- Fried, Michael. *Art and Objecthood: Essays and Reviews*. Cambridge, MA and London: MIT Press, 1998.
- 林道郎「演劇性（劇場性）をめぐる」『SAP』no. 7（2001）：98-117

- . 「メル・ボックナー論：アクチュアル・サイズ？」. *Mel Bochner*. New York: Akira Ikeda Gallery, 2009: 24-41.
- 平倉圭 「時間の泥——ロバート・スミッソン《スパイラル・ジェットイ》」 『Photographers' Gallery Press』 第10号 (2011年) : 106-113
- Hobbs, Robert. *Robert Smithson: Sculpture*. Ithaca and London: Cornell University Press, 1981.
- Jones, Caroline A. *Machine in the Studio: Constructing the Postwar American Artist*. Chicago and London: The University of Chicago Press, 1996.
- Kaprow, Allan. "Segal's Vital Mummies." *Art News* 62, no. 10 (1964): 30-33, 65.
- Kellein, Thomas. "The Whole Space." *Donald Judd: Early Work 1955-68*. New York: D. A. P., 2002: 13-48.
- Khandekar, Narayan, et al. "The Re-restoration of Donald Judd's *Untitled*, 1965." *Modern Paints Uncovered: Proceedings from the Modern Paints Uncovered Symposium*. Los Angeles: The Getty Conservation Institute, 2007: 157-164.
- Kitnick, Alex ed. *Dan Graham, October Files 11*. Cambridge MA and London: MIT Press, 2011.
- 小西信之 「ロバート・スミッソン再起動：彫刻家」 『愛知県立芸術大学紀要』 no. 43 (2014年3月) : 91-103
- Krauss, Rosalind. *Passages in Modern Sculpture*. Cambridge, MA and London: MIT Press, 1977/1981.
- . "The Cultural Logic of the Late Capitalist Museum." *October*, vol. 54 (Autumn, 1990): 3-17.
- . *The Originality of the Avant-Garde and Other Modernist Myths*. Cambridge, MA and London: MIT Press, 1985. [ロザリンド・クラウス 『オリジナリティと反復』 小西信之 訳 (リブロポート、1994年)]
- . "The Grid, the /Cloud/, and the Detail." *The Presence of Mies*. Edited by Detlef Mertins. New York: Princeton Architectural Press, 1994.
- . "The Mind/Body Problem: Robert Morris in Series." *Robert Morris: The Mind/Body Problem*. New York: Guggenheim Museum Foundation, 1994: 2-17.
- . "The Material Uncanny." *Donald Judd: Early Fabricated Work*. New York: Pace Wildenstein, 1998: 7-13.
- . *Perpetual Inventory*. Cambridge, MA and London: MIT Press, 2010.
- Lawrence, James. "Donald Judd's Works in Concrete." *Chinati Foundation Newsletter*, vol. 15 (Oct. 2010): 7-17.
- Lee, Pamela M. *Chronophobia: On Time in the Art of the 1960s*. Cambridge, MA and London: MIT Press, 2004.
- Linder, Mark. *Nothing Less Than Literal: Architecture after Minimalism*. Cambridge, MA and London: MIT Press, 2004.
- Lippard, Lucy R. *Changing: Essays in Art Criticism*. New York: Dutton, 1971.
- . *Tony Smith*. London: Thames and Hudson, 1972.
- . *Six Years: The Dematerialization of the Art Object from 1966 to 1972...* Berkeley and Los Angeles: University of California Press, 1973.
- . "10 Structurists in 20 Paragraphs" (1968). *A Minimal Future?: Art as Object 1958-1968*. Los Angeles: The Museum of Contemporary Art, and Cambridge, MA and London: MIT Press, 2004: 25-31.
- Masheck, Joseph. *Building-Art: Modern Architecture Under Cultural Construction*. New York: Cambridge University Press, 1993.
- Meyer, James, ed. *Minimalism*. London: Phaidon, 2000.
- . *Minimalism: Art and Polemics in the Sixties*. New Haven and London: Yale University Press, 2001.
- . "The Minimal Unconscious." *October* 130 (Fall, 2009): 141-176.
- 岡崎乾二郎 『ルネサンス——経験の条件』 (筑摩書房、2001年)
- Papapetros, Spyros and Julian Rose eds. *Retracing the Expanded Field: Encounters between Art and Architecture*. Cambridge, MA and London: MIT Press, 2014.
- Raskin, David. *Donald Judd*. New Haven and London: Yale University Press, 2010.
- Reynolds, Ann. *Robert Smithson: Learning from New Jersey and Elsewhere*. Cambridge, MA and London: MIT Press, 2003.

- Rothkopf, Scott. “‘Photography Cannot Record Abstract Ideas’ and Other Misunderstandings.” *Mel Bochner Photographs 1966-1969*. Edited by Scott Rothkopf. New Haven and London: Yale University Press, 2002: 1-49.
- Shannon, Joshua. *The Disappearance of Objects: New York Art and the Rise of the Postmodern City*. New Haven and London: Yale University Press, 2009.
- Shapiro, Gary. *Earthwards: Robert Smithson and Art after Babel*. Berkeley and Los Angeles: University of California Press, 1995.
- Shiff, Richard. “Donald Judd: Fast Thinking.” *Donald Judd: Late Work*. New York: Pace Wildenstein, 2000: 4-23.
- . “A Space of One to One.” *Donald Judd: 50 × 100 × 50/100 × 100 × 50*. New York: Pace Wildenstein, 2002: 5-23.
- . “Donald Judd, Safe from Birds.” Edited by Nicholas Serota. *Donald Judd*. London: Tate, 2004: 29-61.
- . “To Stop the Heart.” *Chinati: The Vision of Donald Judd*. Marfa: Chinati Foundation, and New Haven: Yale University Press, 2010: 267-271.
- . “On Donald Judd’s Concrete Works.” *Chinati Foundation Newsletter*, vol. 15 (Oct. 2010): 18-25.
- Smith, Roberta. “Donald Judd,” *Donald Judd*. Ottawa: National Gallery of Canada, 1975: 3-31.
- Stockebrand, Marianne. *Chinati: The Vision of Donald Judd*. Marfa: Chinati Foundation, and New Haven: Yale University Press, 2010.
- Ursprung, Philip. *Allan Kaprow, Robert Smithson, and the Limits to Art*. Translated by Fiona Elliott. Berkeley, Los Angeles and London, University of California Press, 2013.

建築・構造設計・都市計画

- クリストファー・アレグザンダー 『形の合成に関するノート／都市はツリーではない』 稲葉武司／押野見邦英 訳（鹿島出版会、2013年）
- Baldwin, Jay. *Bucky Works: Buckminster Fuller’s Ideas for Today*. New York: Wiley, 1996. [ジェイ・ボールドウィン 『バックミンスター・フルーの世界』 梶川泰司 訳（美術出版社、2001年）]
- Billington, David. P. *The Tower and the Bridge: The New Art of Structural Engineering*. New York: Basic Books, 1983. [D・P・ビリントン 『塔と橋——構造芸術の誕生』 伊藤學・杉山和雄 監訳（鹿島出版会、2001年）]
- Davies, Colin. *The Prefabricated Home* (London: Reaktion Books, 2005).
- Duany, Andres and Elizabeth Plater-Zyberk and Jeff Speck. *Suburban Nation: The Rise of Sprawl and the Decline of the American Dream*. New York: North Point Press, 2000.
- Evans, Robin. *The Projective Cast: Architecture and its Three Geometries*. Cambridge, MA and London: MIT Press, 1995.
- Fuller, R. Buckminster. *Synergetics: Explorations in the Geometry of Thinking*. New York: Macmillan, 1975.
- Giedion, Siegfried. *Space, Time and Architecture: The Growth of A New Tradition*, Fifth Revised and Enlarged Edition. Cambridge, MA and London, 1941/2008.
- Hayes, Brian. *Infrastructure: A Guide to the Industrial Landscape*. New York: W. W. Norton, 2014.
- Hersey, George L. *Architecture and Geometry in the Age of the Baroque*. Chicago and London: The University of Chicago Press, 2001.
- Jacobs, Jane. *The Death and Life of Great American Cities*. New York: Vintage, 1961. [ジェイン・ジェイコブズ 『アメリカ大都市の死と生』 山形浩生 訳（鹿島出版会、2010年）]
- Lapolla, Michael and Thomas A. Suszka. *The New Jersey Turnpike*. Charleston, SC: Arcadia Publishing, 2005.
- Le Corbusier-Saugnier. *Vers une architecture*. Paris: G Crés, 1923. [ル・コルビュジェーソーニエ 『建築へ』 樋口清 訳（中央公論美術出版、2011年）]
- Nye, David E. *American Technological Sublime*. Cambridge, MA and London: MIT Press, 1994.

Otto, Frei et al. *Natürliche Konstruktionen*. Stuttgart: Deutsche Verlags-Anstalt, 1982. [フライ・オットー他『自然な構造体』岩村和夫訳（鹿島出版会、1986年）]

Rowe, Colin. *The Mathematics of the Ideal Villa and Other Essays*. Cambridge, MA and London: MIT Press, 1976. [コーリン・ロウ『マニエリスムと近代建築』伊東豊雄・松永安光訳（彰国社、1981年）]

Rudofsky, Bernard. *Architecture without Architects*. Albuquerque: University of New Mexico Press, 1964/1987.

坪井善昭／川口衛／佐々木睦朗 ほか『力学・素材・構造デザイン』（建築技術、2012年）

Wittkower, Rudolf. "Brunelleschi and 'Proportion in Perspective'." *Journal of the Warburg and Courtauld Institutes* 16, no. 3/4 (1953): 275-291.

———. *Architectural Principles in the Age of Humanism*. New York and London: Norton, 1962/71.

Wachsmann, Konrad. *The Turning Point of Building: Structure and Design*. Translated by Thomas E. Burton. New York: Reinhold, 1961.

自然科学・数学・地理学・心理学

Ball, Phillip. *Shapes: Nature's Patterns*. Oxford and New York: Oxford University Press, 2009. [フィリップ・ボール『かたち——自然界が創り出す美しいパターン』林大訳（早川書房、2011年）]

Coxeter, H. S. M. *Projective Geometry*, Second Edition. New York: Springer, 1974/2003.

———. *Introduction to Geometry*, Second Edition. New York: Wiley, 1961/69. [H. S. M. コクセター『幾何学入門 上・下』銀林浩訳（ちくま学芸文庫、2009年）]

Desargues, Girard. *Œuvres de Desargues*. Edited by M. Poudra. Paris: Leiber 1864.

Ehrenzweig, Anton. *The Hidden Order of Art: A Study in the Psychology of Artistic Imagination*. London: Weidenfeld & Nicolson, 1967. [アントン・エーレンツヴァイク『芸術の隠された秩序』岩井寛／高見堅志郎／中野久夫訳（同文書院、1974年）]

Fletcher, Neville H. and Thomas D. Rossing. *The Physics of Musical Instruments*. New York: Springer, 1998. [N. H. フレッチャー／T. D. ロッシング『楽器の物理学』岸憲史／久保田秀美／吉川茂訳（シュプリンガー・フェアラーク東京、2002年）]

Gibson, James J. *The Perception of the Visual World*. Cambridge, MA: The Riverside Press, 1950. [ジェームズ・J・ギブソン『視覚ワールドの知覚』東山篤規・竹澤智美・村上嵩至訳（新曜社、2011年）]

Greenhood, David. *Mapping*. Chicago and London: University of Chicago Press, 1964.

Hilbert D. and S. Cohn-Vossen. *Anschauliche Geometrie*. Berlin: Julius Springer, 1932. [ヒルベルト／コーン＝フォッセン『直観幾何学』（みすず書房、1966年）]

アラン・ホブソン『夢の科学』冬樹純子訳（講談社、2003年）

Jolley, L. B. W. *Summation of Series*. New York: Dover Books, 1961.

Oster, Gerald. *The Science of Moiré Patterns*. Barrington, NJ: Edmund Scientific Co., 1964.

Stewart, Ian. *What Shape is a Snowflake?* London: Ivy Press, 2001. [抄訳：イアン・スチュアート『自然界の秘められたデザイン』梶山あゆみ訳（河出書房新社、2009年）]

Thompson, D'Arcy Wentworth. *On Growth and Form*, The Complete Revised Edition. New York: Dover, 1942/92. [抄訳：ダーシー・トムソン『生物のかたち』柳田友道 ほか訳（東京大学出版会、1973年）]